

「指導と評価の一体化」のための学習評価（小学校特別活動 学級活動（1）のポイント）【R2 NEW】



【R2NEW】では、いつ話し合いを行って、いつ実践するか等の具体的な日時が示されました。

「なすことによって学ぶ」を方法原理としている特別活動では、話し合いを通して全体で合意形成したことや自己で意思決定したことを実行に移すことが重要です。

学級活動には、学級における切実な議題で合意形成を図る学級活動（1）と教師が年間を通して計画的に決めた題材で意思決定を図る学級活動（2）（3）があります。

合意形成を図るための資質・能力(折り合いを付ける力)は学級活動(1)において育成されます。そこで、学級活動（1）の充実が求められています。

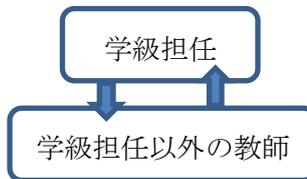
特別活動では、担任以外の教師を含む学校全体で評価体制を整えることが重要です。

学級活動において

主として学級担任が事前から事後の振り返りまでの児童の活動の様子から、積極的によさや可能性を見取る。

児童会活動、クラブ活動、学校行事において

※評価に必要な資料を収集する方法を工夫するとともにそれぞれが学級担任の手に届き、活用されるようにする。



※個々の児童の活動状況について、学級担任と担当する教師との間で情報交換を密にする。



議題

第5学年「がんばったね集会をしよう」

内容のまとめり

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」

1 学級活動（1）で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

2 第5学年及び第6学年の評価規準

特別活動においては、学習指導要領の目標及び特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、各学校が評価の観点を決めることとしています。従って、下に示した評価規準の観点はあくまで例であり、**観点は、学校ごとに定めます。**

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を <u>理解している。</u> 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って <u>実践している。</u>	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に <u>取り組もうとしている。</u>

文末は、「～している。」

3 指導と評価の計画（1時間）

児童が、学級や学校における生活の充実・向上を図るために、**学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、「学級会」等で話し合い、合意形成を図り実践し、振り返ることができるようにすることが大切です。**各学校は、このことを踏まえて指導計画を作成することになります。評価の方法としては、児童の行動や変容など、教師の観察による方法が中心となりますが、学級会ノートを活用した方法なども考えられます。ここでは、評価の視点を記載した学級会ノートを活用した例と補助簿を活用した例を紹介します。次は、第5学年の議題「がんばったね集会をしよう」の1単位時間の指導計画例です。

学級活動(1)は「議題」、学級活動(2)と学級活動(3)は「題材」

- 1 議題 「がんばったね集会をしよう」
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- 2 議題について
 - (1) 児童の実態 (略)
 - ・児童の学級生活における実態 ・これまでの学級活動の取組
 - ・高学年の評価規準からみた話し合い活動における課題や目指す方向
 - (2) 議題選定の理由 (略)
 - ・議題が選定された背景や教師の指導観 ・評価との関わりについて
- 3 第5学年及び第6学年の評価規準 (略) (上記の例を参照)

学級活動(1)の指導案は、「事前(話し合いの前)」「本時(合意形成)」「事後(実践と振り返り)」で計画します。学級活動(2)と(3)は「本時(意思決定)」となります。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
〇月〇日 () 業間休み	・提案ポストの議題案を確認し、選定する。 (計画委員会)	・議題選びの視点を念頭において選定することを指導する。	
〇月〇日 () 帰りの会	・議題を決定する。 (学級全員)	・計画委員会で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。	
〇月〇日 () 昼休みなど	・活動計画を作成する。 (提案理由、話し合いのめあて、話し合うこと、決まっていること等を確認する) ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級活動コーナーに掲示する。 (計画委員会)	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を「決まっていること」として教師が設定する。 ・提案者の思いや願いを学級全体の共同の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。	◎がんばったね集会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉
〇月〇日 () 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)	・話し合うことや決まっていることが、共通理解できるように必要に応じて助言する。 ・提案理由を踏まえた自分の考えを記入できるようにする。	◎友達のがんばりを認め合う内容を学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉
〇月〇日 () 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 (計画委員会)	・出された意見から話し合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。 ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	

5 本時の展開

- (1) 本時のねらい
1年間の互いのがんばりを認め合う楽しい「がんばったね集会」をするために、集会の内容を考えることができるようにする。
- (2) 児童の活動計画 (略)

司会進行計画や話し合いカードの活用等、具体的な話し合いの進め方を計画します。

(3) 教師の指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話し合いのめあての確認 5 決まっていることの確認 プログラムを示すことも考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 話し合いのめあて 「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることを確認する。 ① 時…○月○日○時間目 ② 場所…教室 ③ ゲームで1つ、それ以外で1つ	<p>提案理由・話し合いのめあて・決まっていることについて、児童の活動計画に具体的に書かれている場合は、教師の指導計画には省略することも考えられます。</p>
6 話し合い 話し合うこと① 「何をするか。」 話し合うこと② 「がんばりを認め合う工夫はどうするか。」 話し合うこと③ 「どんな係が必要か。」	<ul style="list-style-type: none"> ・司会が進行に困った時は方向性を示唆し、児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・必要に応じて、自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・これまでの集会の経験をもとに必要な係については事前に短冊を用意しておき、今回新たに必要な係について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の意見のよさを生かしたりして、がんばったね集会の内容や工夫について考えている。 ◎提案理由や話し合いのめあてに沿って発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉
7 決まったことの発表 8 話し合いの振り返り 9 先生の話 10 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについて相互評価できるように助言する。 ・終末の助言では、「①前回の話し合いと比べてよかった点、合意形成したことへの価値付けや称賛、②今後の課題、③計画委員へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。 ・提案理由を意識した発言や建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛する。 ・実践への見通しをもち、意欲が高まるように言葉掛けを行う。 	<p>「十分満足できる活動の状況」を的確に見取るため、具体的な児童の姿をいくつか想定して記述します。</p>

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日 () 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、係の役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう計画委員に助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎がんばったね集会のめあてを意識して、友達と協力して取り組んでいる。
○月○日 () 休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ・帰りの会などで係ごとに経過報告を行ったりお知らせを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係は必ず複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を途中で確認し活動意欲の継続化を図る。 	【思考・判断・表現】 〈学級会ノート〉
○月○日 () ○校時	<ul style="list-style-type: none"> ・「がんばったね集会」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会のねらいを確認し、協力して実践できるようにしたり工夫して活動したりしている児童を称賛する。 	
○月○日 ()	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返るとともにめあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友達のよかったところについても認められるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎がんばったね集会の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート・観察〉

◇学級活動（１）における児童のノートを活用した評価の工夫例

〈資料① 学級会ノート（表）〉

第15回 学級会ノート		〇月 〇日 () 〇校時
5年 2組 番 名前 〇〇〇 〇〇〇		
議題	5年生ががんばったね集会をしよう	
提案理由	5年2組のみんなで4月からがんばってきました。1年間のがんばりをみんなで認め合う日から楽しめる会をすることでさらにみんなが仲良くなり、これからはがんばろうという気持ちになると思って提案しました。	
決まっていること	日時・・・月 日の 時間目 場所・・・教室 ゲームは1つ、それ以外1つ。	
司会グループ	司会	記録係
話し合うこと	自分の意見（理由もしっかり書こう）	
(1) 何をするか。	意見 思い出すころく	理由 まろくのマスに5年2組ががんばってきたことを書くといいたいから。
(2) がんばった認め合う工夫は何か。	意見 音楽会で歌った曲を歌う	理由 音楽会に向けてたくさん練習した思い出の曲をみんなで歌えば、みんなのがんばりを思い出すことができるから。
(3) みんな役割が必要か。	意見 プログラム係	理由 前もってプログラムを作って掲示して、みんなのワクワク感を高めたいから。
・提案理由や話し合いのめあてにそって、話し合うことができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・友達の見解のよいところを考えながら聞くことができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・自分の意見を進んで発表できましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・決まったことや自分がこれから何をしたらよいか分かりましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・がんばりを認め合う工夫について考え、みんなでまとめることができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★今日の話し合いをふり返って 提案理由を再確認して話し合うことができました。この「思い出すころく」のマスに取り入れるといいという意見のよいところを合わせてみんなが納得するまで決めて決めることができましたのでよかったです。		
★決まったことや自分の役割について、これからがんばりたいことプログラム係にならたので協力して楽しいプログラムを作りたいです。みんなで思い出すころくを楽しんでさらにみんなが仲良くなりたいです。		

【知識・技能】
提案理由の「がんばりを認め合う」という活動の意義を理解しその達成のために意見を考えている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられます。

話し合い活動の振り返りとして、3段階で振り返ることで、児童自身の自己評価の力を高めたり、【思考・判断・表現】の評価の参考にしたりする。

【思考・判断・表現】
解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図ろうとしている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられます。

【主体的態度】
自他の取組や実践を振り返り、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして取り組もうとしている様子や友達と協力して準備や活動に取り組んでいる様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられます。



学級会ノートにおける事前の意見や実践後の振り返り等を参考にしたり、話し合いや実践の様子を観察したりしながら、機会を捉えて評価します。
その際、十分に満足できる活動の状況について学校で共通理解を図ることが求められます。

〈資料② 実践の見通し・振り返り（裏）〉

※ 【5年生ががんばったね集会】 ※

※ 自分のめあて ※

友達のがんばったことをたくさん見つけても仲よくなりたいです。

※※※ 活動をふりかえりましょう ※※※

・提案理由を意図して集会ができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・自分のめあてに向けてがんばりましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・自分の役割に責任をもって取り組むことができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
・友達と協力して、楽しく活動することができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>

集会では1年間がんばってきたことを、まろくのマスを楽しくながら振り返ることができました。まろくをおいてなつかしい出来事や忘れていた学習内容を思い出すことができよかったです。思い出ふりかえりマスのみでみんなの心の中のことまで聞くことができた色んなことを通して成長してきたのだと思いました。自分のめあてを振り返るプログラムを作ることができたのでみんなと協力して準備と作り出したマスの出来と4人で協力できた。みんなが仲良くなるのを目標にみんなと協力してみんなの笑顔が溢れる集会をしようと思います。